

## ニカラグア経済定期報告(2012年9月・10月)

2012年11月

在ニカラグア日本国大使館

### 1. 9月の動向

- (1) 9月1日 中米とメキシコ間の自由貿易協定が発効。
- (2) 6日 ニカラグア投資振興機構(ProNicaragua)のラウレアノ・オルテガ・ムリージョ投資顧問は、伯 Andrade-Gutierrez 社がモンキーポイント港建設計画から撤退を決定したことを発表。
- (3) 13日 ニカラグア政府は、China Great Wall Industry Corporation 社からの人工衛星を購入する計画を発表(費用見込み額は3億ドル)。
- (4) 19日 3,253.3百万コルドバ(約137百万ドル)を計上した2012年度補正予算案が国会で可決。
- (5) 27日 COSEP(民間企業最高審議会)は、新たな税制改革における給与所得者の所得税控除の上限を、政府案のとおり、年間所得75千コルドバ(約3,500米ドル)から年間所得100千コルドバ(約4,700米ドル)とすることに同意。

### 2. 10月の動向

- (1) 10月11日 ニカラグア中央銀行によれば、本年上半期の海外からの経済協力額は、670.8百万ドル(前年同期比17.3%増)。
- (2) 15日 約1,887百万ドル(前年比10.8%増の45,288.4百万コルドバ)を計上した2013年国家予算案を国会に提出。
- (3) 16日 エネルギー鉱山省は、ニカラグアが本年終了時点で40%の電力を再生可能エネルギーで発電見込みである旨発表(現在65%を石油、11%をバイオマス、8%を地熱、6%を風力、10%を水力で発電)。
- (4) 17日 中米・EU連携協定(AdA)が国会において全会一致で批准。
- (5) 19日 ニカラグアとチリ間の自由貿易協定が発効。
- (6) 23日 国連ラテンアメリカ・カリブ経済委員会によれば、本年上半期の海外直接投資額は436百万ドル(前年同期比20%減)。
- (7) 23日 ゲバラ中銀総裁は、スクレ通貨運用のための協定案を国会に提出。

(了)